

皮膚科

I プログラムの名称

日野市立病院 皮膚科初期臨床研修プログラム

II プログラムの管理・運営

日野市立病院臨床研修管理委員会によって行われる。プライマリ・ケア医の養成をミニマム・リクワイアメントとし、皮膚科初期研修を希望した研修医に対して、指導医が指導にあたる。

III プログラムの指導者

統括責任者・研修医担当：小菅 治彦（皮膚科専門医、慶應義塾大学医学部非常勤講師、医学博士）

IV 一般目標

皮膚科初期臨床研修の中で、一般臨床医として知っておかなければならない基本的な皮膚疾患を経験し、正しい診断及び治療を行うことができるようにする。

V 行動目標

- (1) 患者－医師関係
 - ・ 患者の社会的側面を配慮した意思決定ができる。
 - ・ 守秘義務の徹底
- (2) チーム医療
- (3) 問題対応能力
- (4) 安全管理
- (5) 医療面接
 - ・ 患者の的確な問診ができる。
 - ・ コミュニケーションスキルの習得
- (6) 症例呈示
- (7) 診療計画
- (8) 医療の社会性
 - ・ 医療保険制度
 - ・ 社会福祉，在宅医療
 - ・ 医の倫理
 - ・ 麻薬の取り扱い
 - ・ 文書の記録，管理について

(9) 皮膚科的手技の習得

- ・ 外用療法
- ・ 液体窒素療法
- ・ 皮膚縫合
- ・ 光線療法
- ・ 創傷処置

VI 経験目標

A 基本的な診察法

- ・ 皮疹を視診・触診により正しく観察し、記載することができる。
- ・ 皮膚外傷を正しく評価することができる。
- ・ 熱傷を正しく評価することができる。
- ・ 湿疹と蕁麻疹を正しく鑑別することができる。
- ・ 薬疹に対する正しい知識を持ち、鑑別すべき疾患を鑑別することができる。
- ・ 色素性母斑と悪性黒色腫の基本的な鑑別ができる。
- ・ 紅斑と紫斑の区別をすることができる。
- ・ 伝染性皮膚疾患の取り扱い及び注意点を把握し、適切に対応できる。
- ・ 性感染症を正しく鑑別し、血清学的診断を正しくできる。

B 以下の項目について自分で検査ができる。

- ・ 皮膚糸状菌検査（鏡検法）
- ・ 創培養
- ・ 血液培養

C 以下の基本的治療行為を自らできる。

- ・ 静脈注射
- ・ 採血
- ・ 外用療法
- ・ 創部処置法（ドレッシング及びデブリードマン）
- ・ 液体窒素療法
- ・ 皮膚縫合
- ・ 皮膚生検術
- ・ 光線療法
- ・ 抗生剤の投与
- ・ 食事・生活指導

D 経験すべき疾患

- 1) 急性湿疹，慢性湿疹
- 2) 接触皮膚炎
- 3) アトピー性皮膚炎
- 4) 急性および慢性蕁麻疹
- 5) 足，爪，体部白癬（糸状菌鏡検による検査を含む）
- 6) 毛囊炎，尋常性ざ瘡
- 7) 尋常性疣贅
- 8) 帯状疱疹
- 9) 尋常性乾癬
- 10) 急性発疹症（麻疹，風疹，伝染性紅斑，水痘，手足口病など）
- 11) 薬疹，中毒疹
- 12) 皮膚良性腫瘍（色素性母斑，脂漏性角化症，粉瘤など）
- 13) 皮膚悪性腫瘍（有棘細胞癌・基底細胞癌，リンパ腫など）
- 14) 自己免疫性皮膚疾患（天疱瘡，類天疱瘡）
- 15) 膠原病（SLE，皮膚筋炎，強皮症，シェーグレン症候群など）
- 16) 褥瘡
- 17) 下腿潰瘍
- 18) 蜂窩織炎

VII 研修スケジュール

研修期間（1 から 3 か月）の日程の概略は以下の通り。

曜日	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
月		外来				病棟・手術		症例検討			
火		外来				病棟・手術					
水		外来				病棟・手術					
木		外来				病棟・手術					
金		外来				病棟・手術・					

VII 研修評価

指導医が10項目からなる研修評価を行う。この中にはサマリー提出率も含む。研修手帳の内容を照合し、しかるべき研修が行われたか吟味する。

研修医氏名		診療科名 皮膚科			
1	基本的な皮膚疾患を鑑別できる。	A	B	C	D
2	皮膚科に必要な診察法を身につける。	A	B	C	D
3	皮膚科に特有な検査法を施行できる。	A	B	C	D
4	皮膚科診療に必要な基本的な治療行為を施行できる。	A	B	C	D
5	他の医療従事者と良好な人間関係を築ける。	A	B	C	D
6	患者あるいはその家族と信頼関係を築き、的確な対応ができる。	A	B	C	D
7	カルテ・オーダーシートなど公文書の記載を的確にできる。	A	B	C	D
8	患者サマリーを適切に記載し、期限内に提出することができる。	A	B	C	D
9	研修態度	A	B	C	D
10	症例に関する研究意欲	A	B	C	D
総合評価		A	B	C	D
コメント					
研修担当指導医署名					

総合評価は A=3, B=2, C=1, D=0 としてスコア化し、30点満点とする。